植物はどのように貧栄養な環境で生育するのか：

土壌微生物に着目した研究

宇都宮花子＊・栃木太郎

○○県立△△△高等学校 生物部

はじめに

　マメ科植物の根には根粒と呼ばれる特殊な器官が形成される。根粒の中には根粒菌と呼ばれる細菌が生息していて、大気中の窒素をアンモニアに変換して植物に供給している。マメ科植物は根粒菌から受け取った窒素を利用することで、窒素の少ない環境でも生育することができる。しかし、根粒はマメ科植物にしか形成されない。それではマメ科植物以外の植物はどのように窒素の少ない環境で生育しているのだろうか。それを明らかにすることを目的に、アブラナ科、ナス科、イネ科植物を用いて研究を行なった。

材料と方法

シロイヌナズナ、トマト、イネの根から微生物を単離し、・・・

結果

　・・・

考察

　・・・

【作成上の注意（要旨作成時には削除してください）】

(1) この見本を参考にしてA4 用紙1 ページにまとめてください。

(2) 「はじめに」「材料と方法」などの見出しはこの通りでなくても結構です。

(3) 上下左右に25 mm ずつ余白を取ってください。

(4) タイトル、氏名、所属はセンタリングしてください。本文も含め、文字の大きさは例文と同じ

にしてください。（タイトル：ゴシック体12 ポイント、見出し：ゴシック体11 ポイント、氏

名・所属・本文：明朝体11 ポイント）

(5) 指導教員を発表者に加える場合は、指導教員氏名の前に（指導教員）と記載してください。

例：宇都宮花子＊・（指導教員）栃木太郎

(6)本文中に図や表を挿入しても結構です。色付きのグラフやカラー写真など貼り付けて頂いて結構ですが、要旨集は白黒印刷となります。写真の解像度は300〜600 dpi 程度を目安とし、ファイルサイズが大きくなりすぎないようご配慮ください。

(7) 作成した要旨はPDFファイルに変換後提出してください。

【提出方法】 申込受付メールに記載の発表要旨提出サイトから提出してください。

【提出期限】 2024 年7月31日（水）

注：提出期限を過ぎると要旨集に掲載できない場合がありますので、締切厳守でお願い致します。